

# 平成18年度 宮城の発掘調査パネル展

宮城県教育庁文化財保護課

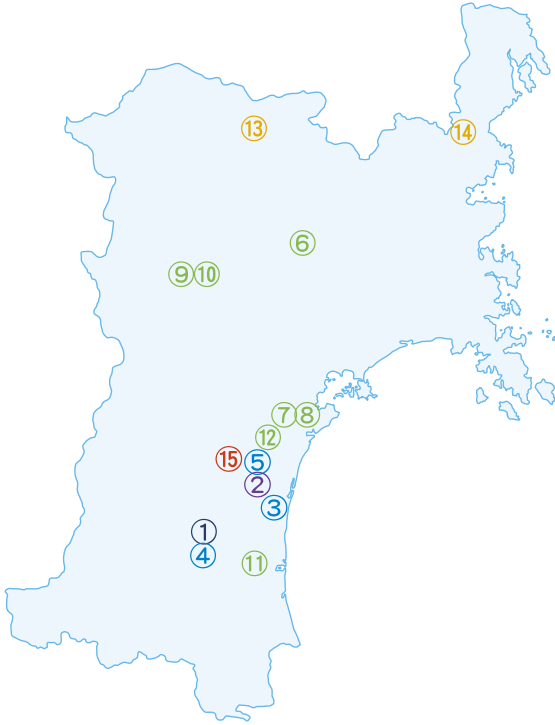
2007年3月26日(月)～4月6日(金) 県庁1階ロビーにて開催

宮城県には、後期旧石器時代から江戸時代まで6,000ヶ所余りの遺跡があります。これらは私たちの祖先が残した貴重な遺産であり、大切に保存し後世に伝えていくことは私たちの責務と考えております。

県教育委員会は、これらの保護と活用に全力をあげて取り組んでおりますが、開発に伴って姿を消す遺跡もあり、それに対してはやむを得ず発掘調査を実施しています。

このたび、本年度に行った発掘調査の中で特に話題になった遺跡をパネルで紹介することにいたしました。この機会に文化財に親しみ、文化財の保護に対してご理解を深めていただければ幸いです。

今回の展示にあたって快くご協力をいただきました各教育委員会・機関に対し、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。



| 時代    | 年代                 | 主な出来事                                | パネルの遺跡  |
|-------|--------------------|--------------------------------------|---|
| 旧石器時代 | 約500万年前            | アフリカで人類が誕生する                         | ①賀籠沢遺跡(村田町)   |
|       | 約50万年前             | 北京原人が洞窟で生活する                         |   |
|       | 約3万年前              | 後期旧石器時代が始まる                          |   |
| 縄文時代  | 約1万2千年前            | 土器・弓矢が出現する                           | ②下ノ内遺跡(仙台市)   |
|       | 約5000年前            | 三内丸山遺跡(青森)で集落が営まれる                   |   |
| 弥生時代  | 紀元前400頃<br>紀元前300頃 | 米作りが始まる<br>吉野ヶ里遺跡(佐賀)で集落が営まれる        | ③下増田飯塚古墳群(名取市)<br>④小沢口古墳(村田町)   |
| 古墳時代  | 紀元後300頃            | 豪族が盛んに古墳を造る<br>雷神山古墳(名取市)、遠見塚古墳(仙台市) |   |
| 飛鳥時代  | 645                | 大化の改新                                | ⑤大年寺山横穴墓群(仙台市)  |
| 奈良時代  | 710                | 平城京(奈良市)に都を移す                        | ⑥木戸窯跡群(大崎市)<br>⑦特別史跡多賀城跡(多賀城市)<br>⑧市川橋遺跡(多賀城市)<br>⑨⑩壇の越遺跡(加美町)<br>⑪史跡三十三間堂官衙遺跡(巨理町)<br>⑫与兵衛沼窯跡(仙台市) |
|       | 724                | 多賀城が築かれる                             |   |
|       | 752                | 東大寺の大仏が完成する                          |   |
|       | 780                | 伊治公皆麻呂の乱が起こる                         |   |
| 平安時代  | 794                | 平安京(京都市)に都を移す                        | ⑬三玉城跡(栗原市)<br>⑭町頭塚(本吉町)   |
|       | 1167               | 平清盛が太政大臣となる                          |   |
| 鎌倉時代  | 1192               | 源頼朝が鎌倉幕府を開く                          | ⑮仙台城二の丸北方武家屋敷跡(仙台市)   |
|       | 1274・1281          | 文永・弘安の役(元寇)                          |   |
| 室町時代  | 1338               | 足利尊氏が室町幕府を開く                         | ⑮仙台城二の丸北方武家屋敷跡(仙台市)   |
|       | 1467               | 応仁の乱がおこる                             |   |
| 徳川時代  | 1590               | 豊臣秀吉が全国を統一する                         | ⑮仙台城二の丸北方武家屋敷跡(仙台市)   |
|       | 1600               | 仙台城の築城が始まる                           |   |
| 江戸時代  | 1603               | 徳川家康が江戸幕府を開く                         | ⑮仙台城二の丸北方武家屋敷跡(仙台市)   |
| 明治時代  | 1868               | 明治維新                                 |   |

## 旧石器時代

### せつきせいさくば 旧石器時代の石器製作の場



発掘調査の様子 石器が出土した場所に番号札(ビニール袋)をつけ、位置を記録しています。

### ①賀籠沢遺跡(村田町)

後期旧石器時代(約20,000年前ころ)の遺跡で、1,500点を超える石器が出土しています。多くは、玉髄製で、その中には、石器を作るために打ち欠いた石片や石器を作った際に飛び散った石くずなどが含まれています。これらには接合するものもあり、この場で石器が製作されていたことがわかりました。村田町では、石器を作るのに適した玉髄という石材が豊富に産出しています。



接合した玉髄製石器

## 縄文時代

### ちよぞう 貯蔵されたアスファルト



口径6cm、高さ9cm。黒くアスファルトが固着しています。

### ②下ノ内遺跡(仙台市)

天然アスファルトが貯蔵された縄文時代後期中頃(3,500年前)の小型の鉢形土器が出土しました。天然アスファルトは秋田県湯上市槻木地区をはじめとする日本海沿いの油田地帯での湧出が知られています。交易品として持ち込まれ、加熱によって溶けて軟らかくなる性質を利用し、骨角器や石器の装着などに使われました。

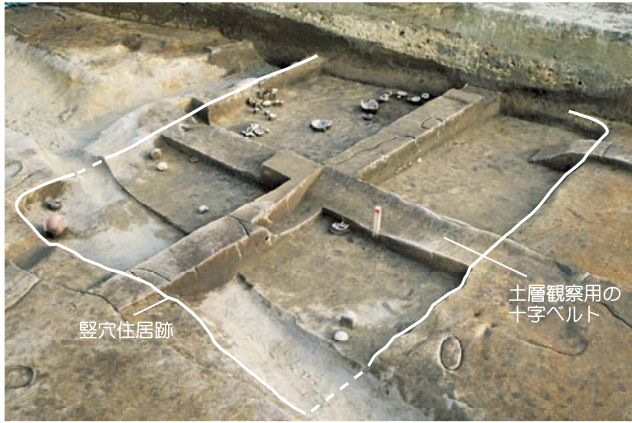


<参考>宮城県東松島市里浜貝塚のアスファルトの付着した骨角器



古墳時代

たてあなじゅうきよ  
古墳時代の竪穴住居



竪穴住居跡

土層観察用の  
十字ベルト

調査中の竪穴住居跡

③ 下増田飯塚古墳群 (名取市)

仙台空港の北に広がる名取市下増田の平野部には、これまで5基の円墳が確認されています。今回、新たに円墳2基と竪穴住居跡2軒が発見されました。竪穴住居跡は、古墳時代中期(5世紀)のもので、長辺8m、短辺6mの長方形をしています。住居内には、食べ物の盛り付けに使われた杯、煮炊きに使われた甕など、いろいろな土器が数多く残されていました。



まとめて出土した土器

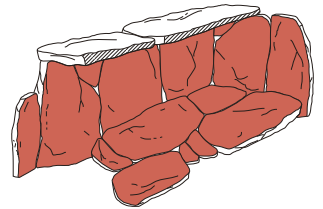
はこしきせつかん  
古墳の箱式石棺を発見



民家の裏から発見された箱式石棺 残存長140cm 幅56cm 深さ30cm

④ 小沢口古墳 (村田町)

町の南西部の低い丘陵上で発見された古墳時代後期(6~7世紀)の古墳です。墳丘は壊されてなくなっていますが、遺体を安置する石棺が一部残っていました。板状の安山岩を組み合わせて長方形にし、蓋をした石棺です。石棺内には、赤色顔料が塗られていました。



箱式石棺のイメージ図

飛鳥時代

がけめん  
崖面につくられた横穴墓群



住宅地の中で発見された17基の横穴墓

⑤ 大年寺山横穴墓群 (仙台市)

仙台市太白区向山の広瀬川に面する丘陵の崖面には、奥行2~3mの穴を掘った横穴墓が100基以上確認されています。今回、7世紀末から8世紀中頃の横穴墓が新たに17基発見されました。横穴墓の天井部には、L字形の金具が残されており、これには室内を仕切る帳がかけられていたと考えられています。このような金具は、全国的にも13例しか見つかっておらず、貴重な発見となりました。



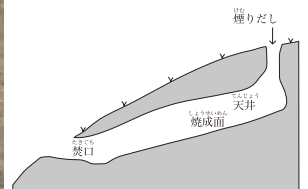
天井部で発見されたL字形の金具

奈良時代

かわらかまあとぐん  
古代の瓦窯跡群を発掘



2号窯跡全景 全長約10m



窯の模式図

⑥ 木戸窯跡群 (大崎市)

大崎市田尻にあり、おもに8世紀前半の多賀城創建期の瓦や須恵器を生産した窯跡群です。今年度は、新たに2基の窯跡を発見しました。2号窯跡は、トンネル状に掘りぬいて作られていました。窯の天井が崩落したくほみには、焼き損じたり破損した大量の瓦が投げ捨てられていました。



出土した軒平瓦

用語解説

◆ 帳：室内をしきるためにたれさげる布

◆ 須恵器：灰色、灰黒色の硬質の土器。窯によって1000℃以上の還元状態で焼かれたもの。

◆ 緑釉：銅を主成分とする釉薬が、熱を受けることで緑色に発色したものの。

◆ 輪花皿：器のふちに切り込みを入れて、花びらを模した皿。



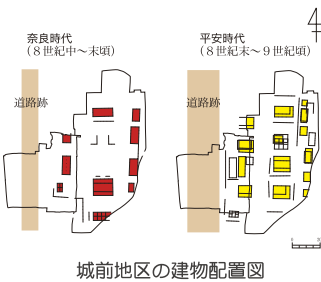
じょうまえ  
明らかにになった多賀城跡城前地区



上空から見た城前地区 (南より)

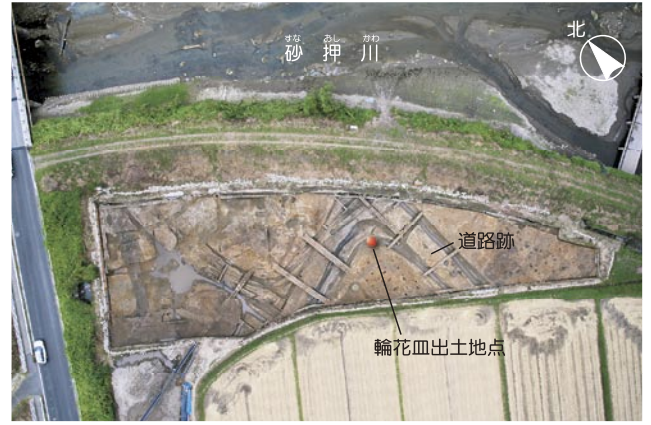
⑦特別史跡多賀城跡 (多賀城市)

多賀城跡城前地区は、政庁の約100m南に位置します。今回の調査で、建物の配置がほぼ明らかになりました。奈良時代は、中央の広場を中心に建物を整然と配置し、平安時代は、広場がなくなり建物の数が増えます。政庁のすぐ南で、道路に面していることから、政庁に次ぐ重要な地区とみられます。



城前地区の建物配置図

りんかざら  
緑色に輝く輪花皿



上空から見た調査区の様子

⑧市川橋遺跡 (多賀城市)

市川橋遺跡は多賀城跡の南面に広がる遺跡です。東西・南北の道路で、碁盤の目状に区割りされていました。今回の調査区では、道路側溝から緑釉陰刻花文輪花皿が出土しました。東海地方で作られたもので、内面に蓮の花の文様が刻まれています。身分の高い人たちが使用していた高級な器です。



緑釉陰刻花文輪花皿の出土状況  
口径15cm 高さ2.9cm

ひがしやまかんがいせきせいもん  
東山官衙遺跡の正門を発見



門と材木堀

⑨壇の越遺跡 (加美町)

壇の越遺跡は、賀美郡の役所跡である東山官衙遺跡の南から南西に広がる大きな遺跡です。奈良・平安時代には、道路によって碁盤の目状に土地が区画されていました。今回の調査では、東山官衙遺跡から約200m南の南北大路上で門とそれに接続する材木堀が発見されました。門は、東山官衙遺跡の正門であったと考えられます。



門の隅柱 径30cm、長さ120cm以上

ざいもくべい  
姿をあらわした材木堀



残存していた材木堀の根元

⑩壇の越遺跡 (加美町)

今回見つかった門には、径25cmの柱を密に並べた材木堀が接続していました。柱材がここまで良好に残る例は珍しいことです。柱の多くは、クリの木の割材を丸く整え、先端を尖らせています。堀の高さは3～4mあったと考えられ、門の東側71mで北に折れ、西側は107m以上延びています。材木堀の全体像については、今後の調査で明らかにしていく予定です。



材木堀の柱材  
径25cm 残存長80cm

用語解説

◆ロストル：オランダ語で近代築の名称

◆平場：土壘・堀などで囲まれ平坦化された城の一區画。近世では「丸」と称し、主郭を本丸と呼び。

◆堀切：尾根を切断する形で設けられた空堀。山城で尾根筋からの敵の侵入を防ぐために造られる場合が多い。

◆田束山：本吉町と南三陸町にまたがる標高512mの山。修験の山として知られており、山頂には、平安時代の終わりころの経塚群がある。

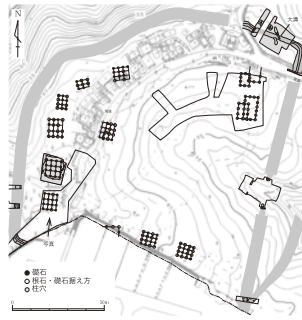


### そせき 古代倉庫群の礎石



東西3間、南北3間の礎石建物跡

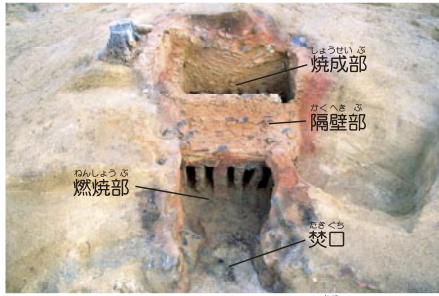
倉庫群配置図



### ⑪史跡三十三間堂官衙遺跡 (巨理町)

平安時代前半頃の巨理郡の役所跡です。遺跡では、現在でも建物の土台に使われた礎石が整然と並び様子を見ることができます。その中の一棟を調査した結果、建物は土を積み上げた壇上に建てられていたことがわかり、税として集められた米などを保管していた倉庫と考えられます。

### 古代東北で2例目！ロストル式の窯を発見



ロストル式の窯 全長4.6m

### ⑫与兵衛沼窯跡 (仙台市)

与兵衛沼窯跡は、奈良・平安時代に国府多賀城、国分寺、国分尼寺の瓦を生産した窯跡です。今回の調査では、半地下式の窯が9基発見されました。そのうちの2基には、燃焼効率を上げ均質に熱をまわすために、瓦を畦状に積み重ねて造られた分炎施設があり、ロストル式と呼ばれています。全国的にも例がないほど良好な保存状況であったため、きわめて貴重な発見となりました。



焼成部のようす



ロストル式の窯  
与兵衛沼の北斜面一帯で発見された窯跡群

### 鎌倉～室町時代

### じょうかん 城館を守るための大規模な堀切



堀切の発掘風景



三玉城全体図

### ⑬三玉城跡 (栗原市)

三玉城跡は、栗原市栗駒の南東部に位置する中世の城館跡です。城館跡は4つの平場からなり、それぞれの平場は堀切や土壁によって区画されています。城館の西側にある堀切は、尾根筋を分断してつくられたもので、長さ26m以上、幅7m、深さ7mもありました。



西側上空から見た堀切・土壁

### こんどうせいきょうづつ 発見された金銅製経筒



十羅刹女 奥州之住持願坊  
奉納大乗妙典 六十六部聖  
三十番神 天正六年今月吉日

こんどうせいきょうづつ  
金銅製経筒  
高さ約10cm



経筒が出土したようす



発掘前の経塚

### ⑭町頭塚 (本吉町)

霊場田東山の北側、旧街道沿いの町頭塚で、供養碑の下から金銅製経筒3口が発見されました。刻まれた文字から、天正6年(1578)のものであることがわかりました。経筒の中には、お経の軸木が残っていました。当時、現世利益・追善供養のために、僧が全国六十六国をめぐり、経筒に入れた法華経を納めることが流行していました。

### 江戸時代

### ぶげやしき ていえん 武家屋敷の庭園を発掘



今回の調査区 現在の東北大学川内北キャンパス内

### ⑮仙台城二の丸北方武家屋敷跡 (仙台市)

仙台城二の丸の北側に広がる、武家屋敷跡です。今回の調査では、池跡や池に水を引入れる木樋や竹樋、排水のための石組溝などが発見されました。木樋や竹樋が縦横に張りめぐらされた場所もあり、その中には木製枘と接続するものもあります。土地の傾斜を巧みに利用した庭園の様子が明らかになりました。



竹樋と木製枘

### 協力 (五十音順)

加美町教育委員会 (壇の越遺跡) / 栗原市教育委員会 (三玉城跡) / 仙台市教育委員会 (下ノ内遺跡・大年寺山横穴群跡・与兵衛沼窯跡・仙台城二の丸北方武家屋敷跡) / 東北学院大学 (賀籠沢遺跡) / 東北歴史博物館 (里浜貝塚) / 名取市教育委員会 (下増田飯塚古墳群) / 宮城県多賀城跡調査研究所 (木戸窯跡群・多賀城跡) / 村田町教育委員会 (小沢口古墳) / 巨理町教育委員会 (三十三間堂官衙遺跡)

文化財保護課のホームページアドレスは、<http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/index.htm>